

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 854 号	氏名	向野 晃弘
学位審査委員	主査 北岡 隆 副査 弦本 敏行 副査 松尾 孝之		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、自己免疫性自律神経節障害の 50% で検出される抗 Ganglionic アセチルコリン受容体 (gAChR) 抗体に着目し、自己免疫疾患であるシェーグレン症候群 (SS) における自律神経機能障害と抗 gAChR 抗体の関連を調査しようとするもので、研究目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 抗 gAChR 抗体 (<math>\alpha 3</math> サブユニットと <math>\beta 4</math> サブユニットに対する抗体) の測定にルシフェラーゼ免疫沈降法 (LIPS) を用い、抗体価を Antibody index (A. I.) (A. I. = [患者血清の測定値] / [正常コントロール測定値の平均 + 3 SD]) として算出し A. I. = 1.0 以上を有意として解析し、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、自律神経症状の有無を問わない SS 患者では抗 gAChR 抗体陽性率は 23% であったが、広範な自律神経障害を呈する SS 患者では 80% と上昇していた。このことは抗 gAChR 抗体が SS の自律神経障害の病態形成に関与している可能性があり、今後の SS 研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は SS 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			